



左から紀子、真紀、由美、香苗、真由美の5人は短大時代のグループ。社会人になったストレスの解消には、やっぱりボードがいちばん!



ラッパー系はじめハードコア・ビープルの多いボーダー業界の首魁ともなればさそや...と思いきや、鏡割りに登場したこんなに和やかな面々。



炭水化物てんこもりのお皿をもつ永遠(とわ)さんと貴也くん。どこのグレンデでも、仲のいい姿を見せてくれそうね。今シーズンの目標は? 彼はファイブ・フォーティ、彼女はスラローム、ですと。

「今年のはじめに、かましてくれたスノーボード歴6年目のグループ。ボードをバクられたばかりのメンバーもいるけど元気でよかった。」



毎週日曜には練習してる、という熱心なチーム「おいでやす」より。メンバーは現在約30人。初心者の方にはとくに懇切丁寧に指導しますので、ぜひご参加を!



「今年のはじめに、かましてくれたスノーボード歴6年目のグループ。ボードをバクられたばかりのメンバーもいるけど元気でよかった。」



エディル・ダイアン(左)とライアン・フェイブリアは、ノルウェイとアメリカから参加してくれたEVOLO所属のプロ・スケーター。大阪でのデモ、東京の大会をひかえ、パーティーでちょっと息抜き。



### Boarder's Night, It's a Groove!

カレンダーをめくったとたんに「ア・キ〜!」になってしまったこの9月・久々の3連休を楽しんだ人も多かったろうが、17日の夜のマハ・ギョほどの盛り上がりは果たしてあったかな?

そう、この晩のマハラジャ祇園は待ちに待ったボーダーズ・ナイト。村上国次プロ率いるエスペランサの主催とあって、集まったのはビギナーからプロまでのスノーボーダーはじめ、スケーターにサーファー、今が遊び盛りの面子ぞろい。御大マーキーの発声による鏡割りで幕を開けた、とにかく楽しければええ! のノリでめちゃりんこに楽しいパーティーナイトとなったのである。

「今日集まってくれたコは、みんな友達やん」

主催者が言うように、型にはまらないボードレスな友情が、会場を盛り上げまくる。ディスコ・タイムに続いて、20名以上のプロたちが提供してくれた各種ボードやスーツなどを、ハンマープライスでオークション。収益の一部は、神戸への義援金として送られる。さらにミス・ストリートの選考、抽選会、ライブ...と、楽しくって、やさしくって、スリリングな一夜、存分にお楽しみいただけましたでしょうか?





沖田まゆみ・ひとみ姉妹を中心に、ボディ・ボード仲間の4人。この冬はスノボ?と聞いたら「バリでボディボード!」とリッチなお答。



撮影直後、「バンザ〜イ!」と叫んでくれためんこい皆さん。いい男もゲットしてくださいね。「Fineですか?」ゴメン、Fameです。



とにかく、ちょっとでもキャッシュを持つてる者の勝ち。レアな板やスーツ、お値打ちもんの数々が福沢諭吉1枚で買ったのは、この日だけ。



美しい京都の集合場所を実感させてくれた夜の、露の立役者。18時30分の開場から25時まで受付でがんばってくれたエスペランサのスタッフたち。

802でおなじみのマーキー氏。こうした場には欠かせない「顔」ですが、エアロビ選手権の司会もやればT.Rextasyのライブにも出たのを、わたしは見た。



「写真やで〜!」の一言で集まったおなじみ3人を含むわけのわからない暴徒(?)たち。この迫力で今年こそ、大会に出たいもんです。



SNOW BOARD  
ESPERANCA  
SHOP

